

こうふ町 議会だより



令和時代への始まり!!



12月定例会2P~3P
一般質問4P~8P
住民懇談会9P
行政調査10P~11P
委員会報告12P~15P
私のひと言16P

12月定例会

一般会計4,079万円減額 予算総額42億5,306万円に

令和元年12月定例会は9日召集され13日までの5日間と定めて開かれました。
今回の定例会には、令和元年一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正等20議案が提出された。
議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案通り可決した。
10日の本会議では5名の議員が一般質問に立ち、活発な議論が展開されました。

補正予算

一般会計

歳出の主な内容

- ふるさと納税返礼報償費 150万円増額
- 児童扶養手当 232万円増額
- 有害鳥獣捕獲報償費 107万円増額
- 道路維持費（災害防除等） 4,133万円減額

特別会計

歳出の主な内容

- 国民健康保険特別会計（事業勘定） 132万円
- 国保システム改修委託料



建設中の新庁舎

条例

議案案件	内容
江府町印鑑条例の一部改正について	住民基本台帳法施行例等の一部改正に伴い、江府町印鑑条例の一部を改正するもので、主な内容は、事前申請により印鑑登録の登録条項に「旧姓」が追加される。また、成年被後見人（本人）でも印鑑登録が可能となるなど。
江府町災害弔慰金支給等に関する条例の一部改正について	国の災害弔慰金に関する法律改正に伴い、弔慰金の貸付要件の緩和、償還に対しての支払い猶予、一定要件による免除規定を改正するもの。
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例の制定について	成年被後見人等であることを理由に不当に差別されることのないよう、成年被後見人等に係る欠落条項、その他権利の制限に係る措置の適正化等のため、江府町消防団条例など関係4条例を改正するもの。
江府町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、臨時・非常勤職員の任用根拠の明確化、適正化をはかるため、新たに条例を制定するもの。
会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	会計年度任用職員制度の導入に伴い、職名等の変更に伴い江府町職員定数条例など10条例の一部を改正するもの。
江府町ジビエ解体処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について	有害鳥獣として捕獲したイノシシ等獣肉を有効活用するための処理施設設置および管理について必要事項を定めた条例を制定するもの。

全員協議会

日野郡ふるさと教育事業について

【現状と背景】

日野郡の人口減少は、極めて深刻な状況であり、地域の担い手となる人材を育成・確保することは日野郡3町が共有する喫緊の課題である。
3町の小・中学校では、郷土愛を育成する「ふるさと教育」を積極的に行っているが、高校生になると同時に、約8割の高校生が郡外へと通学し、地域との関わりが薄くなってしまっている。

【ふるさと教育の目的】

- ①若者の地元定着と将来の担い手づくり
 - ②生涯の仲間が生まれ、ふるさとに対する誇りを持ち続けることが出来る人材の育成
- 【公設塾の設置場所】
①令和2年度根雨地内に設置

奥大山Welcome奨学金事業について

【目的】

将来を担う若者の定住を図るため、町内に定住して就職する者が奨学金を返還する経費に対し、予算の範囲内で助成金を交付する。

【事業時期】

令和2年度4月開始予定

【交付を受けるための条件】

- ①奨学金の貸与を受けて、その返還義務があること
- ②町内に住民登録をし、

継続して町内に在住している事

- ③就業し、継続して勤務している事（自営業も含む）
- ④町税等の支払いに対し、滞納がない事

※令和2年度から返済が発生する人を対象とする。
【対象となる奨学金の種類】

- ①独立行政法人日本学生支援機構の第1種奨学金並びに第2種奨学金
- ②鳥取県育英奨学金
- ③その他町長の認める奨学金

【交付期間並びに交付額】

町内に住民登録を行った日以降の奨学金を返還する期限内とし、継続した120ヵ月分を上限として定め、且つ、毎年18万円を上限とする。また、助成金の交付を受けようとする年度の4月1日から9月30日までに申請を行うこと。

生活の基本は「安心と安全」です！



川端 登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

防犯、監視カメラについて

質問 近年多発する行方不明者、不審者、不法投棄など事件事故に対する、牽制・予防・早期解決のため所要所にカメラを設置すべきと考えるがいかがか。

町長答弁

江府町は、住民の目が結構行き渡っていて、声かけや助け合いが期待できるので町内くまなく監視することはどうかと思うが、重要な箇所には本当に必要なものがあるか検討したうえで設置を考えてみます。

避難経路上の照明機器について

質問 緊急事態が夜間に発生した場合、住民が指定された避難場所へ安全に避難するためにもっと多くの照明機器を設置するべきでは。

町長答弁

基本的には各家庭で懐中電灯など用意していただきたい。

行政サービス向上の一環としてLEDを使用したものやソーラー発電で蓄電装置付きのものに切り替えては。

LEDを使用したものやソーラー発電で蓄電装置付きのものに切り替えては、

町長答弁 集落間の防犯灯は要望に基づいて設置している、ソーラー発電付きの防犯灯については検討したい。

独居高齢者等に対する生きがいの創出について

質問 独居や自宅療養の高齢の方にさらなる自己肯定感や生きがい感を高めるため如何様な対策を講じているか。

福祉保健課長答弁

社会福祉協議会、えんちゃん、民生委員、愛の輪協力員の方たちが見守りを兼ねたたびたび訪問しています。

質問 テレビゲームや人工知能を使用した動物形ロボットなど活用してはどうか。

町長答弁

今のところは福祉保健課長の説明のように対応していきたい、そして周

りの様子を見ながら考えたいと思います。

町に最適な交通体系つくりの取り組みについて

質問 町長は先の定例会で、地域交通の問題は大きな課題である、早急に検討実行したい旨答弁された、その後の展開を問う。

町長答弁

究極のデマンドはタクシーだと考える。これを組み合わせて使いやすい公共交通体系を作るのが今検討中です。ただ、この中には議員

町長答弁

すべてを実行するのは無理だが町の持つ限りのものを使って最善をつくします。



運行サービスが始まった秋田県上小阿仁村の専用区間を走る自動運転車 (令和元年12月1日 日本海新聞掲載)

抜本改革でにぎやかな過疎を！！

～新技術の導入化で有害鳥獣被害を撲滅～
～使用料の無料化で関係交流人口を増加～



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

有害鳥獣対策の今後

質問 有害鳥獣被害は、増加の一途。提案してきたICT化など新技術の対策もない。安心して農業ができる体制が急がれる。具体的な、農家や捕獲者の経費・労力の軽減策は。

町長答弁

日野郡鳥獣被害対策協議会などと協議したが、ICT・遠隔操作などの新技術は、旧来の柵で囲う方法と比べ費用対効果がないという意見で現状の施策を進めたい。

再質問

日野郡協議会計画書によると、農家の高齢化が著しく、柵の設置や管理の負担が大きい。

また、捕獲員が10年後に半減すると予測。現状は厳しく新技術の導入を計画しているが。

農林課長

協議会が捕獲される協議会員は新技術導入まで希望してなく、オリの見回り等も苦には思っていない。ICT化でそんなに成果も上がらず、様子を見ていく方針。

再質問

視察先の小豆島土庄町では、ICT事業を活用し、センサーカメラなどを町が購入。これにより、5年前の捕獲数62頭が30年度には1,055頭の実績。

新技術や見回りなど補助者制度を導入し、労力が軽減され、ワナ

の再設置や設置数増加さらに捕獲後処理も町が森林組合に委託。こうした労力軽減により、会員も育成している。

町長答弁

これまで猟友会と一緒に実施してきた経緯があり、協議会の意向は尊重したい。これからは、協議会の会議に私自身が参加して、話しをしていきたい。

再質問

鳥獣駆除の成果は、本町の農業政策の方向を変える重要課題。財源は、政策の方向転換で工夫できると考える。抜本的な改革で本町の農業を守っていくことをお願いし終わりたい。

無料化で有効活用を

質問 無料化実施を人口減少のなか、健康寿命の確保、子供から高齢者まで居場所づくりは大きな行政課題。公共施設を有効に活用し、使いやすい環境づくりには無料化は、大きな意義があると思うが。

再質問

使用料の減少は、人口減とともに、利用しにくい面があるのでは。賑やかな過疎を目指すには、無料化というインパクトの強い政策が、

町民のやる気を触発すると思う。さらに、町外の人も無料にして積極的に本町に招く政策が、関係人口の増加につながる。

町長答弁

関係人口増加は、町の重要事業。先般、高校生とのトークで、「過疎化が進んでも賑やかな町はできる」と。公共資源を活用し、関係人口を増やし、産業発展・移住者増加事業に生かすべき。

町長答弁

賑やかな過疎は、地元で活躍する人や活動と外からの移住者・企業と一緒に創るもの。まず、町民が賑やかに活動され、有料だと支障を感じたその先に、無料化を考えたい。

再質問

賑やかになってから無料化でなく、無料化を引き出しながら、町外へもアピールすべき。積極的な事業展開が、関係人口を増やし、賑やかな過疎をつくることを考える。

移住者住宅建設は



三好 晋也

動画で一般質問



三好議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

移住者住宅を建設すべきでは

質問 昨年9月定例会において私は町営住宅、分譲宅地等の住宅政策は最優先に取り組むべきではないかと質問しましたが、その際町長は全く同感だ。住宅建設の必要性は重々わかってる。庁舎建設後検討したいと答弁されたが。

施設あり方検討委員会において町内の公共施設をどうするか検討している中でどこにどういうものを建てるか考える必要があると思います。

質問 先日、議会で視察に行きました茨城県境町では近隣各地から移住者呼び込むために行政の財政負担の少ないPFI方式（民設民営）による住宅事業を展開し素晴らしい成果を上げていたが、江府町でも移住者住宅建設を検討したらどうか。

町長答弁

新庁舎建設で財政的にも非常に厳しい時期なので、その辺もよく考えて検討していきたい。



PFI方式のコーポ江府

町長答弁 直接人口減少対策に直結するものだと認識している。そして、空き家だけでは限界があると感じております。ただ、そのタイミングについては、今、公共

直接人口減少対策に直結するものだと認識している。そして、空き家だけでは限界があると感じております。ただ、そのタイミングについては、今、公共

江府町の未来に向けて



空場 語

動画で一般質問



空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

今後の硬直する財政について

質問 NPO法人に委託した業務の成果は。平成30年度から集落支援員業務をNPO法人に委託されましたが一層きめ細かな業務をするということで支援員を2名から3名にされました。

1年半が過ぎて、委託した成果はどうなのか、町長に伺います。

町長答弁

移住定住の関係はかなりやって、移住された方もありました。相談会も多くありました。空き家バンクも成果があがっています。

NPO法人の余剰金は

質問 業務を委託されたNPO法人の30年度決算によりますと、余剰金が出ています。非営利法人の運営費は、町の集落支援員の委託料（税金）が、9割以上の業務です。

この余剰金は、江府町に返還されるものと考えているが、町長の所見を伺います。

町長答弁

NPO法人の余剰金については、町が関与できる部分については返還していただいております。

役場職員数の見直し計画、削減は

質問 町の職員は、平成28年に71人と減少しているが、平成29年以降は75、76人で、今年度は73人です。江府町は、人口が2800人台になりました。国の指標では、江府町、日野町とも63人となっていて10人多くなっています。

他町と比べると、日野町3200人台で、職員は66人。日吉津村は人口3500人で職員は42人、若桜町は人口3300人で、職員は64人。

県内で人口の少ない江府町は、他町と比べても1割以上多いです。職員が多い事について町長の所見を伺います。

町長答弁

江府町の職員数が多いのは、面積が広く、行政をやっていく上で災害等で見るところが

来年の町長選に再出馬する考えは

質問 町長の任期もあと半年余りとなりましたが白石町長が掲げた「3,000人の楽しい町」作りはまだ、道半ばだと思うが如何か。来年7月の町長選に再度出馬し白石町政の2期目を目指すべきと思うがその決意を伺う。

町長答弁

現在新庁舎整備など形が見えてきたものはありませんが、まだまだ道半ばであるというふ

質問 再出馬されるということとで解釈しますがそれがよろしいか。

町長答弁

とにかく今は任期いっぱい頑張るということばいいます。出馬表明についてはしかるべき時にしかるべき場所で行いたいと思います。

多いことがひとつ。日野町の66人と比較してみると、江府町には診療所が含まれていると考えられます。日野病院は別なカウントをしていとなると考えます。

質問 町長は、行財政改革を推進しておられますが、人口が2800人台になりました。平成25年から400人減少しており、今後5

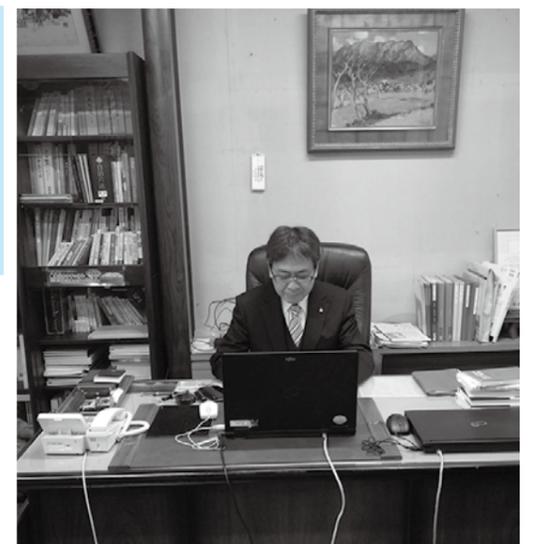
年間でも400、500人の減少が見込まれます。町長の行財政改革の重点課題として取り組んで頂きたい。

町長答弁

今回、会計年度任用職員を導入することも合わせて、仕事の見直しをしながら、職員の資質を上げ、生産性も高めながら、適正な人員にしていきたいと考えています。



役場現庁舎



執務中の町長

住民本意の危機管理を



三輪 英男



動画で一般質問
三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

親元就農促進支援交付金について

質問 親元就農促進支援交付金、これは認定農業者の後継者が親の経営に従事しながら親元で研修を行うという場合、最長2年間の交付金を交付。交付金は月10万円で、負担割合は、3分の1というふうになっております。江府町にこういう事例がありますか、今後この交付金が適用しやすいのかどうか伺います。

農林産業課長答弁 親元就農促進支援交付金制度というのは、認定農業者の後継者であるということが一番

旧江尾発電所の有効利用について

質問 諸般の事情があつて、江府町に譲渡されたわけですが、旧江府発電所は土木学会の選奨土木遺産に認定され、さらに、平成21年8月には国の登録有形文化財に登録されました。

町長答弁 この旧江尾発電所は、文化財として維持し町

集落総合点検の現状について

質問 町長は、集落総合点検に始まる住民参画、協働の町づくりについて基本的な考え方を、全国で一番人口の少ない鳥取県の中で、最も人口の少ない江府町で、小さくても住んでいる人がほこりを

進み、それに伴って農地の荒廃化、空家等の増加、産業の衰退、働き場の減少、高齢者の日常生活の困難さ、若者の流出など、様々なマイナスイメージが起つております。集落総合点検事業の成果とこれからの方向性について見解を伺います。

町長答弁 高齢化が進んできなかなか移動手段が確保されないということあるいは買物などがやっぱり不安だとか、農地や集落の維持管理がなかなかできない、担い手の確保の問題。平成31年度の行財政方針の中でも、集落総合点検については振り返りを行いました。議員がそれをちゃんとやらないんじゃないかと思われればどうかは別ですが、方向性は明示しているというふうに感じております。

住民懇談会

11月18日(月)
町防災情報センターに於いて

令和元年11月18日(月)午後7時より町防災情報センターに於いて 江府町議会と町民の皆さんとの懇談会が開催され、多くの意見・質疑・応答がありました。初めに議会より3項目の報告があり其々に意見交換がなされました。(以下抜粋)

主な意見

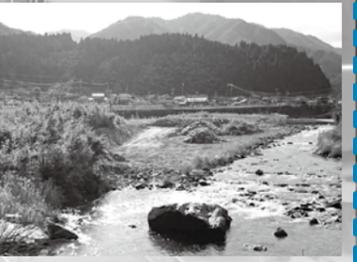
新庁舎建設について

問 建設場所の河川がS字である、護岸や国道の嵩上げが必要では?

答 国道の嵩上げは未定ですが、川床を下げる工事を進めています。

問 なぜ今の場所にしたのか、議会としてしっかり議論したのか?

答 議論重ねた結果です。令和2年度までの完成なら非常に有利な国の補助があります。他の場所では間に合わないと判断しました。また、コストダウンも検討しました。庁舎内に公民館の機能を持たせて高率の補助を受け、議会棟をなくしイスや机は旧溝口議会のものを譲り受けました。



奥大山スキー場について

問 エバーランドの今後について、取り壊しのうわさがあるが?

答 取り壊しはしません、もし壊せば、補助金を返還しなければなりません。町長も議会答弁で出来れば再開したいと発言しています。ただ、雪の状態は憂慮しています。現在、3シーズンの利用を検討中です。



デジタル防災無線について

問 なぜ日野町の山頂に中継局が必要か?

答 調査の結果、町内は電波の環境が悪く中継局が必要と判断しました。

問 町民には動画がわかりやすい、ケーブルテレビの導入は?

答 導入しません、町は光ケーブルを全戸に設置しています。動画はユーチューブを利用しています、何より町民の負担が多くなります。また動画作成時には職員が大勢いるようになります。

その他の質問・意見・要望について

問 一般質問は、言いつばなしでその後の経過がわからない。

答 今後の課題として検討します。各委員会ではかなり議論しています、ぜひ傍聴においでください。

問 議員の定数についてどう考えるか?

答 各委員会に6名ずつ12名は必要、うち2名以上は女性が理想と考えます。

問 小中一貫校が令和4年の開校とあるが時期尚早ではないか?

答 関係者や、議員全員で先進地視察や研修を受け議論を継続中です。

問 議会と話す機会を年に数回は持ってほしい。

答 現在そのように進めようとしています。

地方行政調査特別委員会

茨城県 河内町

茨城県 境町

調査日
令和元年10月24日

調査日
令和元年10月23日



かわち学園現場視察

【町の概要】
河内町は南に舎川、北に新利根川が流れ、一面に田園が広がる緑に満ち溢れた素晴らしい風景が自慢の美しい町である。広大な農地、豊かな水、そして穏やかな気候が農業に適しており、米、レンコン、いちご、茄子、舞茸、ブロッコリー等多くの農産物が生産されている。

※義務教育学校について
義務教育学校の良き①系統的、継続的な義務教育が出来る。②教科担任制による専門的な指導が出来る。

産されている。
人口8,894人
(平成31年4月現在)
面積44km²



郷土学習のための資料
(A4サイズ 164ページオールカラー)

④4・3・2制をとることで中一ギャップが解消できる。
⑤縦割り活動が展開できる。(特に清掃活動や農業体験活動)
⑥学校行事が精選できる。
⑦前期課程・後期課程の教職員が共生できることで資質の向上が図れる。
⑧学校評議員制度を廃止し学校運営協議会を立ち上げることが出来る。
⑨スクールバス運行により児童生徒の登下校時の安全が一層確保できる。

⑩部活動の早朝練習を制限できる。
⑪一体型の新校舎建設上、前期課程、後期課程で共有できる特別教室に係る経費が削減できる。
⑫「郷土学習資料科・かわち学」を利用した学習が9年間連続性を維持してできる。

【考察】
本町が計画している分離型義務教育学校とのハード面での違いは多いがソフト面、特に教職員のスキルアップに成果が上がっている様に見える。いずれにしても義務教育学校設立までの道のりは厳しく各界階層がかなりの時間をかけ議論を尽くして誕生したものと推察される。
そして河内学園の教育ブランドデザインで「共同、共和、共修」の各プランを立て数値目標を設定しその目標に向かって邁進している様子が見えてくる。参考とすべきことが多々あった。

※子育て支援制度について
子育て支援日本一を目指して安心子育てサポートとして、不妊治療助成費、第3子以降に祝い金、育児用品の購入クーポン、出産祝い品プレゼントなどが行われており、中でも出産祝い品における授乳服セットとママの子育て製品は全国初の取り組みがなされている。保育に関しては、保育料の減額や主食・副食費を所得制限なしの無料化、

※移住定住について
境町の人口は平成12年度の27,171人をピークに減少を続け、令和元年9月には、24,127人となつていますが、逆に世帯数は増加してきている。空き家対策を始め、移住定住者を町の中心部に

【考察】
境町は江府町とは立地場所、人口規模等々の大きな違いはあるが、子育て支援や人口減少などの抱える問題は同じである。その中でも子育て支援や教育環境を整える事による若年層の増加を図ることにより、人口減少を最小限に食い止めている。また、橋本町長就任時から在任中は役場

職員の給与をアップしながら業務改善、効率化等の施策を実施、一方、新規補助金の獲得を始め、財源確保のため、ふるさと納税には特に力を入れている。
橋本町長就任時の平成26年度3,257万円から平成30年度には62億1,419万円と大幅な増加

が図られており、これに伴い財政の健全化が顕著となってきた。さらにこの財源を活用しながら子育て支援を始め高齢者施策等十分な取り組みが行われている。
参考とすべきことが多々あった。

【町の概要】
茨城県の利根川と江戸川の分岐点に位置し、利根川随一の河岸の町として栄え、昭和30年に1町4村が合併して誕生した町である。町内に4か所の工業団地があり商工業の盛んな町である。
人口24,324人
(平成30年1月)
面積46,58km²

オムツの持ち帰り無し等が実施され、小中学校においては、給食費半額、条件はあるが3人目は無料化され、また学生に限られるが、20歳まで医療費助成が行われており、この助成は全国トップクラスである。
教育環境においては、小中学校で全国初の先進英語教育が無料で行われており、小中学校に複数の英語講師が常駐され、年1回ではあるが、英検受験料が無料等、年間1億円の予算を教育環境の充実に充てられている。

呼び込むため、リフォームした物件をモデルハウスとして活用することを条件に空き家、空き店舗のリフォームを町が支援している。
また、平成29年度に社会資本整備総合交付金を活用しPFI方式による定住促進住宅を建設し、さらに、平成30年度には新築一戸建て住宅を建設、町外の方限定、20年住み続けたら無償譲渡するなど、の事業を次々に展開し成果を上げていく。



境町町長からまちづくりについて話をうかがう

教育民生常任委員会

地方行政調査報告書

調査日
令和元年11月7日～8日

所管事務調査報告書

調査日
令和元年10月29日

江府小学校

①今後の児童数の推移予測

・現在児童数は79名であり、予測では令和5年の90人をピークに減少に転じる。
・老朽化したプールについては将来保育園の移転などと併せて早急に検討されたい。
・義務教育学校に關しては令和4年の開校に向けての協議中、教育委員会において最大限の尽力が問われる。



老朽化が進む江府小学校プール

付きに最大限の努力をされたい。

【考察】

特色ある取り組みについては学校教育目標「故郷を誇りに思い、自分からみんなと力いっぱい学ぶ子の育成」の実現のため地元の行事等を積極的に活用された。

子供の国保育園

①今後の園児数の動向

・園児数は令和元年10月末において76人である。令和2年には72人の見込みである。職員については定数を満たしているが、入所時の低年齢化と個々の発達に配慮が必要な子供が増えてきつつあり、不測の事態には対応できない状況である。

【考察】

職員の最低待遇基準を見直しされたい。又、園舎はかなり老

分離型義務教育学校鳥取市立鹿野学園について

【経緯】

鹿野地域では、地域住民、保護者、教職員で組織する鹿野地域小中一貫校推進委員会を平成28年6月に設立した。この推進委員会では2つの専門部会からなり、先進地視察なども行いながら協議を重ね、平成30年4月、鹿野小・中学校は県内初の施設分離型「義務教育学校鳥取市立鹿野学園」として新たに開校した。

【構成】

流沙川学舎（元鹿野小学校）では1年生から5年生までが136名、王舎城学舎（元鹿野中学校）では6年生から9年生104名が学習している。これを機会に校訓・校歌・校章・制服を新しく制定している。

学園経営ビジョン

①目指す学校像：地域を支えていく志や力を持ち、豊かな人間性を備えた人材を地域と共に育む学校

②目指す子供像：ふるさと鹿野を愛する子・確かな学力を持つ子

③学校教育目標：ふるさとを誇り、世界で活躍する人づくりをする。ふるさとを守り、地域を支える人づくりをfon。

④地域創造学校：コミュニティ・スクールとして地域全体で生活習慣、歴史や伝統行事、社会規則を学ぶ場としている。

【考察】

当学園の設立の始まりは鳥取市との合併による地元中学校の消滅の危機感と人口減による先行き不安を敏感に感じ取った地域住民の行動に

朽化が進んでおり、移転もしくは改築についても、場所・時期等今からしっかりと検討されたい。

江府中学校

①今後の生徒数の動向

・現在生徒数は57名で6学級、教師は11名である。令和3年には生徒数35人、3学級となる見込みである。現状においては教師の配置が十分と観測された。
・アンケートによる生徒の約7割弱がスマホを利用して居る。適切な取り扱いについて今後もしっかりと指導されたい。

【考察】

教師の配置不十分な点は、本町だけではなく深刻な問題として、県教委と共に取り組まされたい。令和4年からの義務教育学校の開校を目指して教育の充実を図られたい。

介護老人保健施設あやめ

①スタッフの状況

・本年9月までは、スタッフ不足により受け入れが十分ではなかったが、調査時点では57名の入所者で、待機者は38名となっている。

【考察】

最近、行われた防災訓練において非常階段に問題点がみられた。早急に点検及び改善を取られたい。

江府町社会福祉協議会

①活動内容

・本協議会においては、広報「社協だより」の発行をはじめ福祉大会、小地域の福祉座談会の開催やボランティアアセンタリーの運営、見守り訪問活動、在宅福祉サービス並びに健康

した。特にこの義務教育学校の優れた点として一人の校長を頂点として9学年を統一した教育方針で貫くことができた。また、特色ある科目やユニークな部活動などが取り組みやすいため、本学園では独自の「荒鷲科」を新設し地元にある「鳥の劇場」や鹿野に開設された青山学院大学鳥取分室の協力を受け様々な表現を学ぶ「表現ワークショップ」を全校展開し大きな成果が表れつつあります。結論として、この鹿野学園は施設分離型であるが、教育活動においては何ら不便や不利益は無い様に観察した。したがって、本町の目指す形態もほぼ同様であるので、遅滞なく事業を進めるべきと申し上げます。

立事情とは若干の違いはありますが、地域や子供たちにとってこの義務教育学校は、利益はあれど弊害はないと考察できます。

【考察】法人単位事業活動計算書では前年度より当年度は事業差額が改善した結果となっており、内容的には固定資産が古く減価償却費が計上できなかつたためである。今一度、資産の見直しを行い利用者のサービスの向上を図られたい。特に福祉有償運送に使用する車両については相当使用年数が経過しており、利用の安全が危惧される状態である、早急に更新されたい。



流沙川学舎の多目的ホール（舟をイメージ）

私のひと言



佐川 松原 孝史

私の趣味

この前、新聞に『金もない、趣味もない、居場所もない』と定年後の生活を揶揄して書いている人がいたが、仕事を辞めて好きなことができると思っただけで間違いない。何かやと用事が出てきて何もできないことがわかる。史記で有名な斉の宰相管仲は、長寿の秘訣を『之を肆にせんのみ』と云ったとか。長生きするためには、少し生活時間の断捨離が必要である。

『趣味は何ですか?』と聞かれたら、50年近くやってきた剣道と答えるしか外に何もない。大学に入ってからは剣道だが、面白い。卒業後教員になり、剣道部の顧問になった。ここに先輩顧問の熱心な先生がおられ、赴任の夏休みに東京に1週間ほど武者修行に連れて行ってもらった。日本武道館を始め、奥多摩や群馬の道場、それから有名な講談社野間道場などを電車や車で移動して稽古した。米子に帰ってきたとき、体重は5、6 kg減り、腕時計を見たらガラス蓋、長針が飛んで短針しか残っていないかった。相当ハードな移動稽古であったが、剣道に対する熱い思いが湧いてきた。それを機会に米子武道館に度々稽古に行くようになり、当時の錚々たる先生方に稽古をつけていただいた。

45歳の時に7段に合格し、全日本級の選手が多く参加する奈良柳生の研修会に派遣された。指導の先生方の神技、集まった研修生のパワーとキレのある玄妙な技、私のような臂力に頼るマサカリ剣道ではとても太刀打ちできる気はしなかった。基本からやり直しそうと思ったが、仕事も忙しくなり稽古ができなくなった。どうもここが分かれ目になってしまったようだ。60歳を超えてからは、上手の先生方にはもちろん、下手の先生にも打たれるばかりになった。

剣道の教えに『懸待の一致』がある。攻防の表裏が一体となることを指す格言で、竹刀の先を相手の正中線にとり気攻めから打ち合うのだが、竹刀の幅の中にしっかりと自分を隠さないと打たれてしまう。竹刀を握る左手を自分の正中線から外れないようにすればいいのだが、これが難しい。結局は、心の問題である。剣禅一如、ものに動じない心が剣道の奥義か。私ら凡人には到底届かないところである。結局のところ、趣味の剣道も打たれっぱなしでストレスが溜まるこの頃である。

初めまして。新人保健師の中根です!



保健師
中根 翔子

「元気にしちようかや?」
私が江府町の保健師になろうと思ったのは、こんな住民さんの何気ない一言がきっかけでした。初めまして、滋賀生まれ米子育ちの新人保健師、中根です。私が初めて江府町に来たのは、鳥取大学の地域医療研究部の活動の時です。これは、医学生が住民さんと直接関わる中で、地域で暮らす方の生活を知り、住民さんと共に、より健康に暮らしていくためには、と考え実践していく活動です。1集落に3年間関わりますが、私は新町1丁目・池ノ内集落を中心にお宅訪問や座談会、宮市、日の詰では大山おこ

わ作りに運動会と行事にも参加させて頂きました。住民さんが温かく学生を受け入れて下さり、冒頭に書いたように、3年間の関わりが終わった後でも、町で出会うと「久しぶりだなあ。元気かや?」「今は〇〇して頑張ろうよ」など声をかけて下さいます。何気ない一言の積み重ねで、「育てて頂いた住民さんに保健師として恩返しをしたい、引き続き、住民さんとともに命と健康を守るために頑張りたい」と思えます。

実際に、保健師の立場で働いてみて、学生を受け入れる為に沢山の方が動いて下さっていることを知りました。学生の受け入れ拠点となる俣野ふれ愛学舎もその一つです。改めて感謝しながら働かせて頂いております。

最後に、私は大変おっちゃんちよい故に沢山の方の手をお借りすることになると思いますが、温かい目で見守って頂ければ幸いです。いつまでも学生の頃の初心と感謝の気持ちを忘れずに、これからも精進してまいりますので、よろしくお願いたします。



平成から令和に、大きな時代の変化の年でした。大きな国家的事業も終わり、令和の時代となりましたが、未だ平成と間違えるのは私だけでしょうか。慣れるにはもうしばらくかかりそうです。

役場新庁舎建設も始まり、来年6月末には完成の予定です。皆様の負託に答えられる庁舎が出来上がることを願っています。

奥大山スキー場は今季は休止となりましたが、良い指定管理者が現れ運営されることを切に望んでいます。

明るい話題ですが、お米日本一コンテストで二人の方が金賞を受賞されました。江府町のお米が日本全国に認知され、少しでも江府町のお米の価格が高く評価されることを願っております。

議員一同、皆様と共に江府町の町づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、「議会だより」について、ご意見・ご提案等をお待ちしております。

広報公聴常任委員会

- 委員長 三好 晋也
- 副委員長 阿部 朝親
- 委員 三輪 英男
- 委員 空場 語

川端登志一

阿部 朝親